CORONA

コロナ冷温風機（コンプレッサー内蔵タイプ） **セラミックサロン**

取扱説明書　CDH-104R

このたびは、コロナセラミックサロンをお買いあげいただきましてありがとうございました。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、それぞれの性能を十分にお心得になったうえで正しくご使用ください。
なお、お読みになった後もお使いになる方がいつでも見られる所に「保証書」とともに大切に保管してください。

もくじ

仕　様

(50/60Hz)

型式	CDH-104R		
運転区分	冷風	除湿	温風
使用可能室温（目安）	5～35℃		25℃以下
電源	単相 100V 50/60Hz		
消費電力 W	275／320		1230／1230
冷風能力 kW(kcal/h)	0.87/0.98(750/840)	——	——
除湿量	0.62/0.72（L/h）	10/12（L/d）	——
除湿タンク容量	約2.5Lで自動停止		
安全装置	温度過昇防止器（サーモスタット、温度ヒューズ）		
外形寸法 mm	高さ665×幅250×奥行360		
重量 kg	18.7		

■冷風能力は、室温30℃、相対湿度70%、強風運転の値です。
■除湿能力は室温27℃、相対湿度60%を持続する室内で運転した数値です。
■温風特性は、室温20℃の値です。
■仕様は、別売品(排熱ダクトなど)を取り付けないときの値です。
■製品は改良のため仕様の一部が変わることがあります。
■長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
運転を「停止」しても約1ワットの電力を消費します。

1 安全上のご注意

■ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
■ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠警告 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。

⚠注意 誤った取り扱いをしたときに、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があるもの。

絵表示の例

⚠記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は一般的な注意)が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は一般的な行為の指示)が描かれています。

■お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

設置について

⚠注意

水平で丈夫な場所で使用する

ご使用中にセラミックサロンが倒れると内部の水が室内に浸水して家財などをぬらしたり、感電や漏電火災の原因になることがあります。

押し入れ・家具のすきまなど狭い場所で使用しない

風通しが悪くなり、発熱・発火の原因になることがあります。

水のかかりやすい場所で使用しない

感電や漏電火災の原因になることがあります。

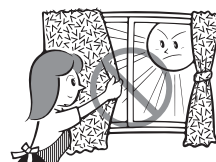
油・可燃性ガスのもれる恐れのある場所へは設置しない

万一もれてセラミックサロンの周囲にたまると、発火の原因になることがあります。

セラミックサロンの上に花瓶など水の入った容器をのせない

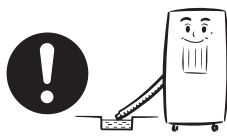
セラミックサロン内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電や漏電火災の原因になることがあります。

屋内専用、直射日光のあたる場所・雨風のあたる場所で使用しない

過熱や感電・漏電火災の原因になることがあります。

美術品や学術資料などの保存など、特殊用途には使用しない

保存品の品質低下の原因になることがあります。

連続排水する場合はホースの折れ曲がり・落差などに注意し、確実に排水するようにする

内部の水が室内に浸水して家財などをぬらす原因になることがあります。

排水ホースを使用する場合は、ホースの周囲が氷点下にならないようにする

ホース内部の水が凍結し、セラミックサロン内部の水が室内に浸水して家財などをぬらす原因になることがあります。

⚠ 警告

電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、がたつきのないように根もとまで確実に差し込む

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。

電源コードの途中での接続、延長コードの使用、他の電気器具とのタコ足配線はしない

感電や発熱・火災の原因になります。

電源コードは、破損させたり、加工したりしない

感電・火災の原因になります。
電源コードは、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると破損につながります。

電源プラグの抜き差しによりセラミックサロンの運転や停止をしない

感電や火災の原因になります。

電源コンセントは必ず専用回路を使用する

電源回路容量不足など配線に不備があると漏電や火災の原因になることがあります。

交流100V以外で使わない

定格以外の電圧で使用すると感電や火災の原因になることがあります。

空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れない

内部でファンが高速回転しており、ケガの原因になります。

長時間冷風を身体に直接あてたり、冷し過ぎ(温め過ぎ)ない

体調悪化・健康障害の原因になります。

スプレーなどの缶を本体の近くに置かない

爆発や火災の原因になります。

乳幼児や身体の不自由な方は、単独では使用しない

やけどの原因になります。

発熱器具の近くに置かない

樹脂部分が溶けて引火する恐れがあります。

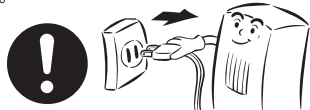
リモコンに使用しているボタン電池をはずした場合には、幼児などが誤って飲むことがないように管理する

万一飲みこんだ場合には、直ちに医師にご相談ください。

安全に使っていただくために

⚠ 注意

お手入れのときは必ずスイッチを「停止」にし、プラグも抜く

内部でファンが高速回転しておりますので、ケガの原因になることがあります。

長期間使用しない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く

感電や漏電火災の原因になることがあります。

水気の多い場所など、設置場所によってはアースが必要

アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は感電の原因になることがあります。

セラミックサロンの風が直接あたる所で燃焼器具を使わない

燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。

空気の吹出口や吸込口を布などでふさがない

風通しが悪くなり発熱・発火の原因になることがあります。

セラミックサロンの上にのったり、腰掛けたりしない

落下・転倒などによりケガの原因になることがあります。

セラミックサロンを水洗いしない

感電の原因になることがあります。

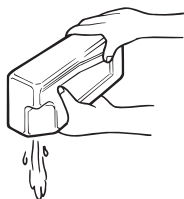
空気の吹出口には手を触れない

空気の吹出口は、温風運転時に熱くなりますので手を触れないでください。やけどの原因になることがあります。

電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らない

電源コードを引っ張って抜くと、芯線の一部が断線して発熱・発火の原因になることがあります。

移動するときは必ず運転を停止し、内部のタンクの水を捨てる

内部の水が室内に浸水して家財などをぬらしたり、感電や漏電火災の原因になることがあります。

長時間連続で使用するときは、特にフィルターや排水ホースなどを定期的に点検する

過熱や漏水の原因になることがあります。

修理について

⚠ 警告

異常時(こげ臭いなど)は、運転を停止して電源プラグを抜き、修理を依頼する

異常のまま運転を続けると故障や感電・火災などの原因になります。

修理は、お買いあげの販売店またはコロナお客様ご相談窓口に依頼する

修理に不備があると感電・火災などの原因になります。

2 知っておいていただきたいこと

■冷房機ではありませんので部屋全体を冷やすことはできません。冷風運転されるときは、必ず窓を開けてご使用ください。

■ 閉めきった部屋で冷風運転すると圧縮機の放熱により室温が多少上昇します。
■ 直射日光のあたるお部屋で使用する場合は、カーテンや日よけをしていただくと冷風効果があがります。

■除湿運転をするときは、お部屋を閉めきった状態でご使用ください。

■ 吹出グリルから除湿された冷風が、排熱グリルから温風が出ますので、室温が多少上昇します。
■ 風があたって不快なときは、機具を横にむけるか、いったん運転を停止するかなどしてお使いください。

■冷風・除湿運転の使用可能室温は「５～35℃」です。

■ この製品は自動霜取装置を内蔵しています。冷風・除湿運転時室温が低下して、冷却器に霜が付くと霜取運転となり圧縮機が停止します。霜取が完了しますと圧縮機は再び動きます。
■ 冷風運転時５℃以下のところで使用しますと、除湿水が凍結し排水できなくなり、水もれすることがあります。
■ 35℃以上のところでは、機械に無理がかかり正常に運転できないことがあります。

■温風運転は「25℃以下」の室温でご使用ください。

■ 温風運転時、吹出口周辺の高温部に手を触れないでください。やけどの原因になります。
■ 温風運転時、吹出口をふさいだり、吸込口フィルターが目づまりすると、過熱防止サーモが作動し運転が停止することがあります。
■「温風運転」でお部屋全体を暖めることはできません。

■吸込口や吹出口をふさがない場所に設置します。
壁・障害物から50cm以上はなしてください。

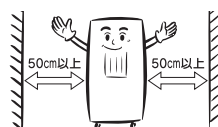
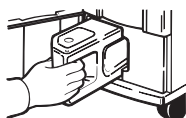
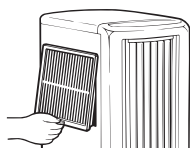
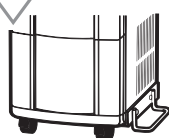
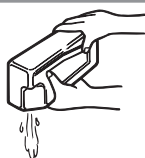
■カーテンやふとんなど燃えやすいものの近くで運転しないでください。

■冷風・除湿運転を停止してすぐに再開しても、機械にむりがかからないように保護装置がついています。約３分間送風運転を続けた後、自動的に冷風（除湿）運転に切り換わります。

■機具は絶対に横倒しや逆さにしないでください。故障の原因になります。

■お客様自身での修理または、改造は絶対におやめください。

■アルミフィンについて

■ 熱交換器に使用しているアルミフィンは性能向上のため、樹脂の表面処理を実施しています。
銅管のロー付けの際の熱により一部変色をしていますが、性能および耐食性など何ら影響ありません。

3 ご使用前の準備

運転する前に包装用テープをはずし、エアフィルターと除湿タンクが入っていることを確認してください。

万一の転倒をさけるため「転倒防止金具」を取り付けてください。
運転するときは、安定のよい、床面の平らな場所でご使用ください。

移動するときは運転を停止して、除湿タンクの水を捨ててください。

ご注意

■テレビやラジオから１m以上はなしてください。電波障害の原因になります。
■ぬれた手でスイッチを操作しないでください。感電の原因になることがあります。

4 各部のなまえとはたらき

正面

操作部

カードリモコン

吹出グリル
左右ルーバーと上下ルーバーで風向を調節します。

リモコン受信部

前とびら（除湿タンク）
運転中に出る除湿水がたまります。

移動用キャスター

背面

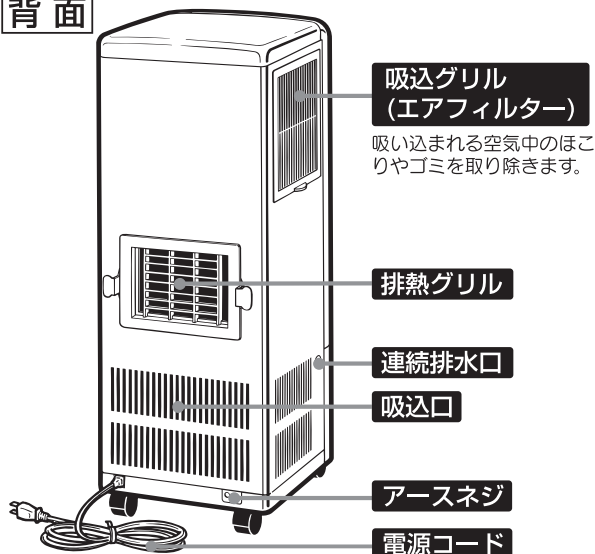
吸込グリル（エアフィルター）
吸い込まれる空気中のほこりやゴミを取り除きます。

排熱グリル

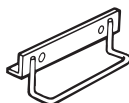
連続排水口

吸込口

アースネジ

電源コード

付属品

カードリモコン1個　リチウム電池1個　転倒防止金具１個　取付専用ネジ２本

CR2025

■カードリモコンについては6ページを参照ください。

■付属品は梱包材の発砲スチロール(上部)に収納されています。

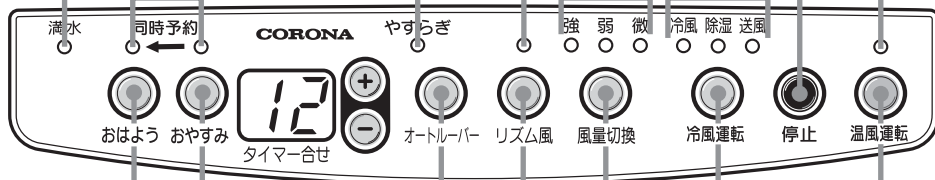
5 操作部のなまえとはたらき

満水ランプ
除湿タンクが満水になると、運転を停止してランプが点灯します。
約５秒間ブザーが鳴り満水をお知らせします。

タイマー表示ランプ　やすらぎ運転ランプ　リズム風ランプ　風量切換ランプ　運転切換ランプ　運転ランプ

停止ボタン
運転を停止します。

満水　同時予約　CORONA　やすらぎ　強　弱　微　冷風　除湿　送風

おはよう　おやすみ　タイマー合せ　オートルーバー　リズム風　風量切換　冷風運転　停止　温風運転

おはようタイマーボタン
「停止」「おはようタイマー」の切り換えをおこないます。
おやすみからおはようの同時予約もできます。

おやすみタイマーボタン
「連続運転」「おやすみタイマー」の切り換えをおこないます。
タイマー運転中はタイマー時間表示して ⊕ ⊖ ボタンで１時間から 12 時間まで１時間単位でタイマー時間の切り換えができます。

リズム風ボタン
自動的に風量が変化し、自然に近い風となります。
もう一度押すと風量切換の設定風量に戻ります。

オートルーバーボタン
ルーバーが左右に動きます。
もう一度押すと動きが停止します。

運転切換ボタン
「冷風運転」または「温風運転」を始めるときにいずれかのボタンを押します。
運転中に冷風運転ボタンを押すと「冷風」「除湿」「送風」の順番で切り換えをおこないます。

風量切換ボタン
風の強さが「強風」「弱風」「微風」の３段階に選べます。
温風運転時は風量に応じてヒーター電力も切り換わります。
「強風」「弱風」……1200W
「微風」…………………800W

6 カードリモコンのなまえとはたらき

やすらぎボタン
室温を検知しながら、リズム風の静かな微風でタイマー運転をします。
4時間後に運転を停止します。

オートルーバーボタン
ルーバーが左右に動きます。
もう一度押すと動きが停止します。

おはようタイマーボタン
「停止」「おはようタイマー」の切り換えをおこないます。
おやすみからおはようの同時予約もできます。

運転／停止ボタン
ボタンを押すと運転を始めます。
もう一度押すと運転を停止します。

風量切換ボタン
風の強さが「強風」「弱風」「微風」の３段階に選べます。

おやすみタイマーボタン
「連続運転」「おやすみタイマー」の切り換えをおこないます。

ご注意
- ■カードリモコンでのタイマー時間の設定変更はできません。
- ■「運転切換」「リズム風」「タイマー時間の設定変更」の操作は、本体の操作部でおこなってください。
- ■カードリモコンは必ず本体に向けて操作してください。
- ■カードリモコンを投げたり、落としたりしないでください。また、水などをかけたりしないでください。
- ■カードリモコンを直射日光のあたる所や、ストーブなどの近くに置かないでください。
- ■受信部(本体)に直射日光があたる場合、正しく作動しないことがあります。カーテンなどでさえぎってください。
- ■電子式点灯方式の蛍光灯やコードレス電話のある部屋では、信号を受付けない場合があります。あらたに蛍光灯や電話をお買い求めになる場合は販売店にご相談ください。

7 カードリモコンの取扱い

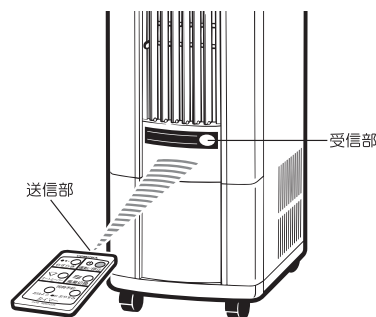
カードリモコンの裏面は磁石付ですから、使わないときには器具本体に取り付けできます。

カードリモコンをご使用の前に

同梱の電池を「カードリモコンの電池交換」の方法で入れてください。

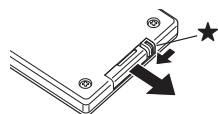
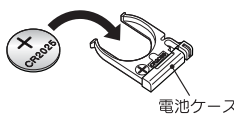
カードリモコンによる運転について

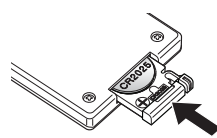
■カードリモコンの送信部を本体の受信部に向けて操作してください。
■ボタン操作をしたときは、受信部(ピッ音)で信号の受付けをお知らせします。
■操作できる距離は受信部の正面にカードリモコンを向けたとき**約5m以内**です。
■送信部と受信部の間に信号をさえぎる物があると動作しません。

受信部
送信部

カードリモコンの電池交換

〔使用電池：リチウム電池CR2025〕

電池が消耗すると動作しにくくなります。電池を交換してください。

★部分を左に押し付けながら電池ケースを引き出します。

電池ケースの ⊕ の刻印と電池の＋極を合わせて入れます。
(電池の＋極と－極を間違えて挿入するとリモコンが作動しません。)

電池ケース

電池ケースを押しこみます。

ご注意
電池は誤った使いかたをしますと液もれや破れつすることがありますので、つぎの点について特にご注意ください。
- ■＋と－をショートさせないでください。
- ■長期間ご使用にならないときは電池を取り出しておいてください。
- ■万一液もれが起こったときは電池ケースの汚れをよくふき取ってから新しい電池と交換してください。

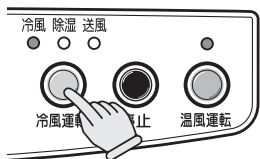
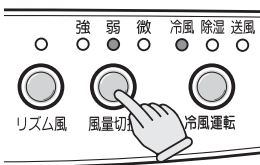
8 運転のしかた

一度運転すると、その運転内容がマイコンに記憶されますので、つぎからは運転切換ボタンを押すだけで同じ運転ができます。停電があったあとや電源プラグを抜いたあとに運転をおこなう場合は、もう一度操作をやり直してください。
除湿タンクが満水になると、自動的に運転を停止して満水ランプが点灯します。

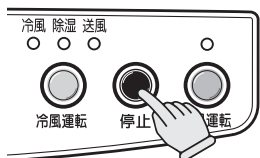
冷風運転

電源プラグをコンセントに差し込みます。

冷風運転ボタンを押します。

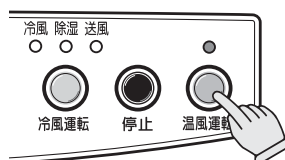
■運転表示ランプが点灯して運転を開始します。
■「冷風」「除湿」「送風」のいずれかを選びます。

風量切換ボタンで「強風」「弱風」「微風」のいずれかを選びます。

「オートルーバー」「リズム風」「おやすみタイマー」「おはようタイマー」をお好みに応じて設定します。

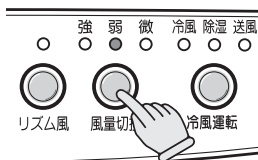
**やめるときは……
停止ボタンを押します。**

■運転表示ランプが消えて運転を停止します。

温風運転

電源プラグをコンセントに差し込みます。

温風運転ボタンを押します。

■運転表示ランプが点灯して運転を開始します。

風量切換ボタンで「強風」「弱風」「微風」のいずれかを選びます。

■風量に応じてヒーター電力も切り換わります。
「強風」「弱風」…………1200W
「微風」………………… 800W

「オートルーバー」「リズム風」「おやすみタイマー」「おはようタイマー」をお好みに応じて設定します。

**やめるときは……
停止ボタンを押します。**

■運転表示ランプが消えて運転を停止します。

9 リズム風

冷風・送風運転中に、リズム風ボタンを押すと自動的に風量が変化し、自然に近い風となります。もう一度押すと風量切換の設定風量に戻ります。

風量切換「強」の場合

風量切換「弱」の場合

弱 微 弱 微
(4秒) (4秒)

風量切換「微」の場合

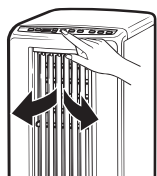
ご注意

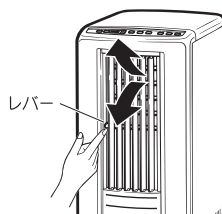
■温風運転・除湿運転時はリズム風になりません。また、除湿運転は風量の切り換えができません。

10 風向調節

冷風・温風効果をより高めるために風向をルーバーで調節してください。

左右ルーバー（オートルーバー）

お好みに合わせて、左右に連続して風向を変えたり風向を自由な位置で止めたりすることができます。
オートルーバーボタンで風向を調節してください。

上下ルーバー

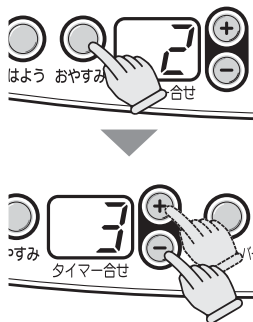
上下ルーバーのレバーを持って手で調節します。

ご注意

■温風運転時、吹出口周辺の高温部に手を触れないでください。やけどの原因になります。
■左右ルーバーは必ずオートルーバーボタンで操作してください。手で無理に動かすと破損する恐れがあります。
■寒いときなど風が気になるときは、直接身体にあたらないように本体の向きを変えてください。

11 タイマー運転

１時間単位で最大12時間までおやすみタイマーがセットできます。１度セットすると次回からは同じタイマー運転ができます。お好みの運転状態にしてからおこなってください。

おやすみタイマー（運転→停止）のセット

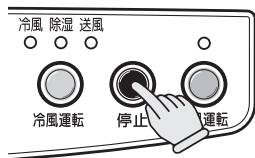
おやすみのときなど、お望みの時間後に運転を停止させたいときに使います。

おやすみタイマーボタンを押します。

■タイマー合せにタイマー設定時間が表示されます。

⊕⊖ ボタンを押します。

■タイマー合せ⊕⊖ボタンを押してお望みのタイマー時間を設定します。
時間設定範囲「１～12時間」
■設定時間が経過すると運転を停止します。
時間の経過とともに表示時間が変わり、残り時間を表示します。

タイマー運転中変更したいとき

停止させたい

■停止ボタンを押します。

時間を変更したい

■ ⊕ ⊖ ボタンで、設定時間を変更します。
変更した時点から新しい設定時間で動作します。

連続にしたい

■おやすみタイマーボタンを押します。
タイマー合せ表示が消灯し連続運転になります。

ご注意

■停止中はおやすみタイマーのセットはできません。

おはようタイマー（停止→運転）のセット

おめざめのときなど、お望みの時間後に運転を開始させたいときに使います。

おはようタイマーボタンを押します。

■タイマー合せにタイマー設定時間が表示されます。

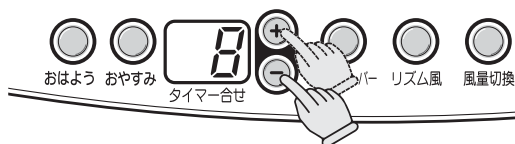
⊕⊖ボタンを押します。

■タイマー合せ⊕⊖ボタンを押してお望みのタイマー時間を設定します。
時間設定範囲「1～12時間」

■設定時間が経過すると運転を開始します。
時間の経過とともに表示時間が変わり、残り時間を表示します。

タイマー運転中変更したいとき

時間を変更したい

■ **⊕⊖ボタンで、設定時間を変更します。**
変更した時点から新しい設定時間で動作します。

タイマーをやめたい

■ **おはようタイマーボタンを押します。**
タイマー合せの表示が消灯し停止します。

おやすみ→おはようタイマー（運転→停止→運転）のセット

おやすみのときなど、お望みの時間後に運転を停止させ、さらにおはようタイマーで運転を開始させる場合に使います。

おやすみタイマーボタンを押します。

■タイマー時間を設定します。

おはようタイマーボタンを押します。

■タイマー時間を設定します。

■おやすみタイマー時間が経過すると運転を停止し、さらにおはようタイマーの設定時間が経過すると運転を開始します。

【例】2時間後に停止させ、10時間後に運転を開始させたい場合

2時間後に停止…
おやすみタイマー

10時間後に開始…
おはようタイマー

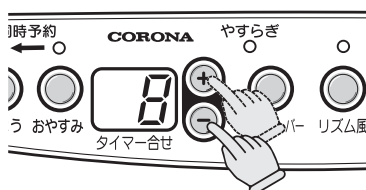
時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12（最大設定可能時間）
おやすみタイマー	運転		停止										
おはようタイマー											運転		

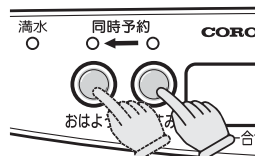
タイマー運転中変更したいとき

停止させたい

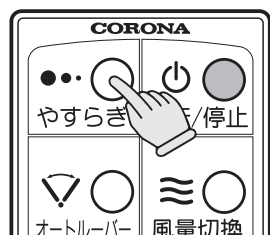
■ **停止ボタンを押します。**

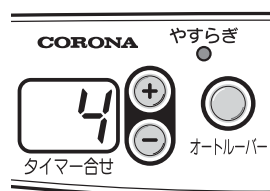
時間を変更したい

■ **⊕⊖ボタンで、設定時間を変更します。**
変更した時点から新しい設定時間で動作します。

タイマーをやめたい

■ **おはようタイマーボタンとおやすみタイマーボタンを押します。**
タイマー合せ表示が消灯し停止します。

12 やすらぎ運転

おやすみのときなど、はなれたところからリモコン操作でやすらぎ運転をおこなうことができます。
やすらぎ運転は、お部屋の温度を検知しながらリズム風と静かな微風でタイマー運転し、４時間後に自動的に運転を停止します。

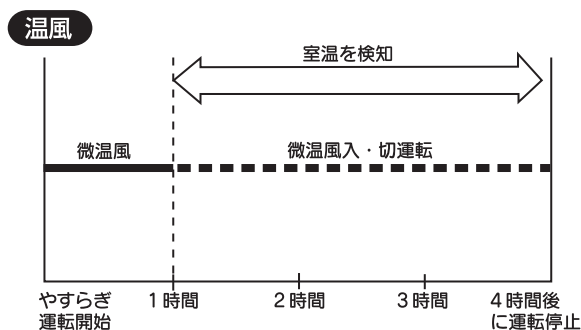
やすらぎ運転のしかた

カードリモコンのやすらぎボタンを押します。

■本体のやすらぎランプが点灯し、タイマー合せに4時間のタイマーが表示します。
やすらぎ運転時間が経過すると運転を停止します。

やめるときは

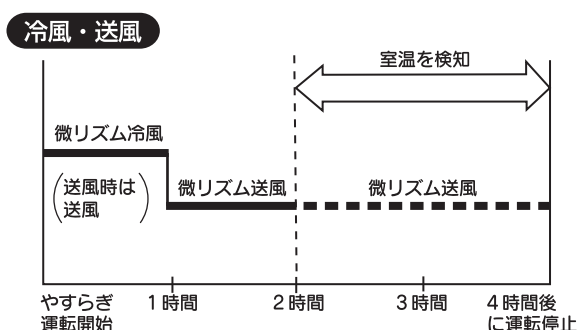
■**再度、やすらぎボタンを押します。**

やすらぎ運転のしくみ

温風・冷風・送風の運転モードに応じて静かな微風でタイマー運転をし、さらに室温を検知しながら自然に近いやすらぎリズム風をお届けします。効果をより高めるために風向をルーバーで調節してください。

温風

微温風運転を1時間おこない、その後室温を検知しながら微温風運転の入・切運転をします。

■室温が約15〜17℃をさかいにして、室温が高いときは運転を停止し、低いときは微温風運転をおこないます。

冷風・送風

微リズム冷風運転(送風時は送風)、微リズム送風運転を各1時間おこない、その後室温を検知しながら微リズム送風運転をします。

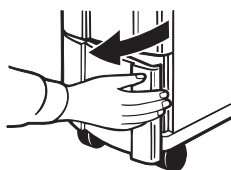
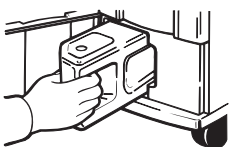
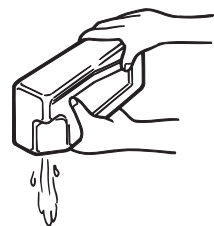
■室温が約26〜28℃をさかいにして、室温が高いとき微リズム送風、室温が低いときは、ゆっくりとした微リズム送風(３秒ON、10秒OFF)になります。

ご注意

■除湿運転時はやすらぎ運転にはなりません。

13 除湿水の処理

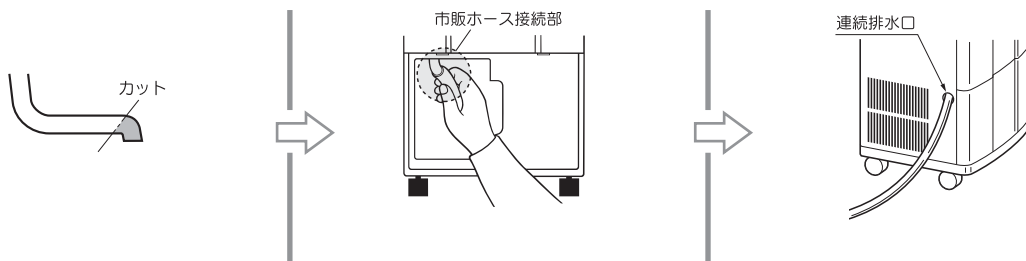
除湿タンクが満水になると、自動的に運転を停止して満水ランプが点灯します。
約5秒間ブザーが鳴り満水をお知らせします。

除湿タンクの水の捨てかた

前とびらの右側を手前に引き、開きます。

除湿タンクのとって部を持ち、水がこぼれないように引き出します。

両手で持って水をしずかに捨ててください。

■除湿タンクを取り出すときは、必ず運転を停止し、電源プラグも抜いてから取り出してください。
■運転停止直後に除湿タンクを引き出しますと、ホースに残っているドレン水がこぼれ落ちることがありますので２～３分待ってから引き出してください。
■水を捨ててから再度タンクをセットするときは、ホースの位置を確認してください。
■機具を移動するときは、運転を停止しタンク内の水を捨ててから、静かに移動してください。

連続排水する場合

連続排水をしたい場合は、市販のホースを使用して排水することができます。

■機具左側面の連続排水口を突き破り、タンク上部のホースに市販のビニールホース(内径９～10㎜)を接続し、突き破った穴にホースを通して排水してください。
■ホースの接続は図のように機具のホースをカットしてからおこなってください。

ご注意

■ホースが途中で折れ曲がらないように注意するとともに、先下りの勾配をつけて確実に排水するように配管してください。
接続部はテープを巻き、水もれしないよう注意してください。
■狭い場所でのカッター作業などは、ケガに注意しておこなってください。

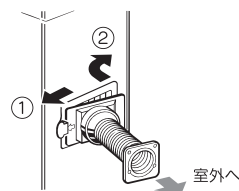
14 冷風運転時の排熱処理方法

別売の排熱ダクトHD-70およびダクトパネルを使用しますと、運転時の排熱を室外に出すことができます。

※ダクトパネルには取り付け可能な窓高さ寸法により､つぎの4種類があります。

■ 標準ダクトパネル(HDP-70)……………窓高さ82.5㎝～133㎝の場合
■ 長窓用ダクトパネル(HDP-100)…………窓高さ133㎝～162㎝の場合
■ テラス窓用ダクトパネル(HDP-180)……窓高さ162㎝～200㎝の場合
■ 小窓用ダクトパネル(HDP-50)…………窓高さ72.5㎝～83.5㎝の場合
（ダクトパネルのカットで40cmまで取り付け可能）

排熱ダクトだけ使用する場合

■排熱ダクトの矢印のある方を先にして､①･②の順で取り付けます。
■排熱ダクト先端を室外へ出して排熱します。

排熱ダクトとダクトパネルを使用する場合

■ダクトパネルを窓へ取り付けます。
■排熱ダクトをダクトパネルのダクト受け部へ差し込み､排熱します。
■ダクトパネル使用時はパネル後面の窓を開けてご使用ください。

ご注意

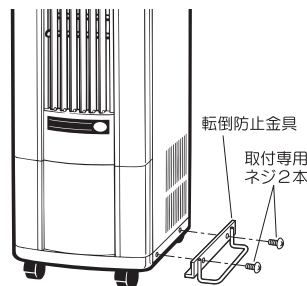
■エアコンのようにお部屋全体を冷やすことはできません。
■お部屋を除湿する場合はダクトをはずし、窓を閉めて除湿運転をしてください。
■排熱ダクトをお使いになるときは、「強風」または「弱風」でお使いください。
「微風」または「除湿運転」で使用した場合は、保護装置がはたらいて冷風運転が停止することがあります。
■風雨が強い場合は運転を停止し、窓を閉めてください。

15 付属品の取付方法

万一の転倒をさけるため「転倒防止金具」をつぎの要領で取り付けてご使用ください。

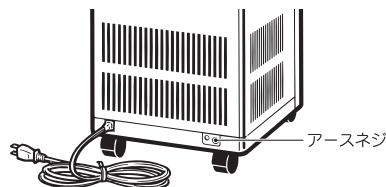
機具右側面下部のネジ２本をはずしてください

⇩

転倒防止金具を付属の取付専用ネジ２本でしっかりと取り付けてください。
ネジは、ドライバーを使用し確実に締め付けてください。

アースについて

水蒸気が充満するところや水気の多いところで使用する場合は、万一漏電したときにおこる感電を防止するために、本体背面のアースネジにアース線を接続してください。

ご注意

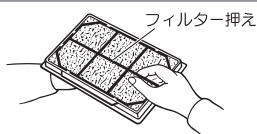
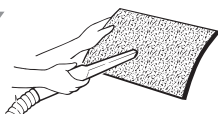
■水道管やガス管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。

お手入れのしかた

⚠注意

お手入れをするときは、必ず運転を停止し、電源プラグも抜いてからおこなってください。
内部でファンが高速回転しておりますので、ケガの原因になります。

エアフィルターのお手入れ

２週間に一度はお手入れをしてください。
エアフィルターにほこりがつまると風量が減少し、能力が低下します。

吸込グリル下部のつまみをつまんで上に引き上げ、手前に引きながら取りはずしてください。

「フィルター押え」をたわませてはずし、フィルターを取り出してください。

掃除機を使用するか、軽くたたいてください。汚れのひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水で洗うと効果があります。
洗った後は、よくすすぎ、日陰で乾かしてからもとどおり取り付けてください。

ご注意

■エアフィルターをはずしたまま運転するとごみが付着し、故障の原因になります。
■製品は必ず正立で運搬・保管してください。

掃除機などでお手入れ

吸込口を掃除するときは、ロングノズルでおこなってください。

40℃以下のお湯を使う

40℃以上のお湯は使わないでください。
変形することがあります。

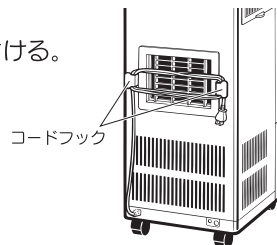
やわらかい布でからぶき

やわらかい布でからぶきしてください。

揮発性のものは使わない

ベンジン・シンナー、みがき粉、化学ぞうきんなどを使用すると変形や割れることがありますので使用しないでください。

長期間使わないとき

■半日ほど送風運転をして内部をよく乾燥させる。
■運転を停止し、電源プラグを抜く。電源コードは排熱グリルのコードフックに巻き付ける。
■除湿タンクの水を捨てる。
■エアフィルターを掃除し、もとどおりに取り付ける。
■やわらかい布でからぶきする。

点検整備のおすすめ

セラミックサロンを数年ご使用になりますと内部が汚れ、能力が低下することがあります。
通常のお手入れとは別に点検整備をおすすめします。
点検整備は、お買いあげの販売店または、お近くのコロナお客様ご相談窓口にご相談ください。

17 このようなときには

修理・サービスをお申しつけになる前につぎの点をお調べください。

症状	原因	処置
運転しない	電源プラグがはずれていませんか？	電源プラグを確かめてください。
	ヒューズ、ブレーカが切れていませんか？	ヒューズ、ブレーカを確かめてください。
	除湿タンクが満水になっていませんか？	タンクの水を捨ててセットしてください。
	停電ではありませんか？	停電かどうか確かめてください。
運転しているが冷風がでない	運転停止後、再運転まで３分以上たっていますか？	保護装置がはたらいています。3分以上たてば運転を再開します。
	室温が15℃以下になっていませんか？	霜取運転中です。霜取が終了すると運転を再開します。
	運転切換ボタンが「送風」になっていませんか？	「冷風」「除湿」の位置に合わせてください。
冷風・除湿能力が低下した	エアフィルターがほこりやゴミで目づまりしていませんか？	エアフィルターを掃除してください。
	排熱グリルがふさがれていませんか？	壁・障害物から50㎝以上はなしてください。
	室温が低くありませんか？	室温が低くなるにつれ、除湿量は少なくなります。 除湿量は湿度によっても変わりますが、特に低湿度(40%以下)では除湿できません。
風量が切り換わらない	運転切換ボタンが「除湿」になっていませんか？	「冷風」または、「送風」の位置でのみ切り換えられます。
音が大きい	不安定な場所で使っていませんか？	水平で丈夫な場所でご使用ください。
	エアフィルターがほこりやゴミで目づまりしていませんか？	エアフィルターを掃除してください。
音がする	運転中や停止直後にシュルシュルと水の流れる音がする。	内部の冷媒（液）の流れる音です。異常ではありません。
温風がでない	冷風運転の停止後に、温風運転への切り換えで３分以上たっていますか？	保護装置がはたらいています。 ３分以上たてば運転を再開します。
	室温が高くありませんか？ 吸込・吹出グリルがふさがれていませんか？ （この場合、温風ランプが早い点滅をします。）	過熱防止サーモがはたらいています。 しばらく待ってから、再運転をおこなってください。
風量が少ない	エアフィルターがほこりやゴミで目づまりしていませんか？	エアフィルターを掃除してください。
	吸込グリルがふさがれていませんか？	障害物をとりのぞいてください。
	温風時は他の運転に比べ風量がさがります。	――――
ランプが点灯しているが運転しない	おはようタイマーがセットされていませんか？	おはようタイマーがセットされているとき、運転ランプなど他のランプも点灯し、運転を停止します。

つぎの症状のときは、ただちに運転を停止し、電源プラグを抜き、販売店へご連絡ください。

■ヒューズやブレーカがたびたび切れるとき
■電源プラグやコードが異常に熱いとき
■電源プラグやコードの被覆が破れているとき
■スイッチの作動が不確実なとき
■誤って異物や水を入れてしまった、本体を倒してしまったとき
■使用中に異常音がするとき
■その他、異常のあるとき

18 修理・保証

修理サービスについて

■冷温風機の補修用性能部品の保有期間は製造打切後９年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。くわしくはお買いあげの販売店またはお近くのコロナお客様ご相談窓口にご相談ください。
■保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは

異常があるときは、運転を停止して電源プラグを抜いたのち、お買いあげの販売店にご連絡ください。
ご連絡の際には、つぎの５点をはっきりとご連絡ください。

■型式（品番）
■お買いあげ日
} 保証書をごらんください。
■故障内容（表示部が点滅しているかを確認してください）
■ご住所・ご氏名・お電話番号
■訪問ご希望日

保証書について

このコロナセラミックサロンには「保証書」が付いています。
■保証書はお買いあげの販売店でお渡しいたしますので、必ずお受け取りください。万一故障した場合には、保証書記載内容により、保証期間内は無料修理いたしますので、保証書記載内容をご確認のうえ大切に保管してください。
■保証書にお買いあげ日、販売店名など所定事項の記入がないと有効とはなりません。もし記入がないときは、すぐにお買いあげの販売店にお申し出ください。
■このコロナセラミックサロンの保証期間はお買いあげいただいた日から１年（ただし、冷却装置の保証期間は３年）です。
保証書の記載内容によりお買いあげの販売店が修理いたします。
その他詳細は保証書をごらんください。

ご相談先 お客様ご相談窓口一覧表をごらんください。